



「つくし湖」堤防で、元気に泳ぐ約200匹のこのぼり

5月上旬 **今年もつくし湖で泳ぐ 約200匹のこのぼり**
 今年も「つくし湖」堤防で、長さ50cmほどの可愛いこのぼり約200匹が、筑波嶺の風を受けて元気に泳いでいました。これは、石田君江さん（真壁町亀熊地区）とその同級生などが、国から堤防の利用許可を受けて、ボランティアで実施。石田さんは、「3月は真壁のひなまつり、5月はつくし湖のこのぼりを楽しんでほしい。堤防一体にこのぼりを飾るのが夢です」と話していました。
 今年は実施5年目。紫尾子育てクラブに協力を依頼し、新たに子どもたちが絵を描いたこのぼりが一緒に飾られました。



笑顔でスイカを頬張る子供たち

4月22日 **食育改善推進員による スイカ教室 in 岩瀬東部保育所**
 筑西・桜川こたますイカ産地女性の会の食育改善推進員の皆さんが、『スイカができるまで』を題材に、スイカ教室を岩瀬東部保育所で開催しました。
 当日は「さくら組」の22人と、「ばら組」の24人の子供たちが参加して、お話を聞きました。
 イラストや本物のスイカを使用したわかり易い説明に子供たちは、時折笑みを浮かべながら、真剣にお話を聞いていました。その後、校庭でスイカの試食会が行われ、みんなお口いっぱい頬張りながら、美味しくスイカを食べていました。



第一美術展に入選した藤田守さんと平成26年の作品

5月16日 **藤田守さんの油絵 第一美術展に入選**
 藤田守さん（富谷地区）の油絵が、第一美術協会主催の第一美術展一般の部で入選し、5月27日～6月8日まで国立新美術館に展示されます。
 20代から趣味で油絵を始めた藤田さんは、平成25年に美術関係者からの勧めで同展一般の部に応募。25年～27年の3年連続で、入選しました。作品は「ふるさとの風景」と題され、友人が撮影した筑波山の写真をもとに風景を描きました。
 藤田さんは、「入選するとは思わなかった。美術館に展示されて嬉しい」と話していました。



「5年未来」選挙メッセージコンクールで最優秀賞を受賞した齋藤留菜さん

3月23日 **齋藤留菜さん 選挙メッセージで最優秀賞**
 齋藤留菜さん（当時岩瀬東中学校3年）が、「5年未来」選挙メッセージコンクールで、最優秀賞を受賞しました。
 これは、茨城県選挙管理委員会が、県内中学3年生に選挙の原則や歴史、現状などを記載した選挙ガイドブックを配布し、5年後の自分へのメッセージを募集。その中から、優秀なものを表彰したものです。このメッセージは5年後に、選挙の有権者となる本人に郵送されます。
 受賞した齋藤さんは、「茨城県の投票率がかなり低いことに驚きました。20才になったら投票に行きたい」と話していました。

まちな話

いつでもだれでも楽しく」 桜川スマイルクラブ総会 **5月17日**
 総合型地域スポーツクラブ「桜川スマイルクラブ（蛇原正善会長）」の総会が、大和中央公民館で開催されました。
 本クラブは、地域住民の健康づくりとコミュニティづくりのために活動。スポーツ教室やハイキングなどのイベントを開催しています。
 当日は、約60人が参加。総会後には、便秘や姿勢、肩こり・腰痛の改善が期待される正しいラジオ体操の仕方を学びました。
 蛇原会長は、「今後も健康とコミュニティづくりの場を提供していきます。新規会員も増やしていきたい」と話していました。



桜川スマイルクラブ総会で、ラジオ体操を学ぶ会員たち

施設慰問コンサート inサンホーム真壁 **5月17日**
 バンド「中島清とブルーハーフ」が、特別養護老人ホーム「サンホーム真壁」で、ボランティアのコンサートを開催しました。
 同バンドは、10年前に趣味と健康づくりのため結成。平均年齢70代のメンバー9人で、真岡市を拠点とし、イベント参加や施設慰問など活躍しています。
 当日は、白い海峡など14曲演奏。施設職員や地域女性会有志と一緒に踊るなどして、施設入所者の皆さんは、楽しい時間を過ごしました。
 同バンドの中島さんは、「慰問して、逆に元気をもらいました」と話していました。



施設慰問コンサートを開催したバンド「中島清とブルーハーフ」

まちな話

交通事故防止「春の全国交通安全運動街頭キャンペーン」 **5月11日**
 真壁高校生徒や新社会人、交通団体が一緒に、県道石岡筑西線飯塚交差点で、春の全国交通安全運動街頭キャンペーンを実施しました。
 「安全はゆとりの心とマナーからのスローガンを掲げ、子供と高齢者の交通事故の防止を目指しました。
 大塚市長が、「家庭内で交通安全の話題を作り、家族を守ってください」とあいさつし、真壁高校生徒代表の前野叶美さんの宣言でキャンペーンが開始。同校で作ったイチゴジャムの啓発品を手渡ししながら、広く交通安全を呼びかけていました。



啓発品を手渡し、交通安全を呼びかける真壁高校生徒

交通安全県民運動模範推進者 2人に県知事から感謝状 **4月22日**
 横田安弘さん（真壁町伊佐々地区）と小河原文江さん（真壁町上小幡地区）が、平成26年度交通安全県民運動模範推進者として、茨城県知事から感謝状を受賞しました。
 これは、茨城県交通対策協議会が安全で快適な交通社会を実現するため、交通安全活動の功労者に感謝状を贈るものです。
 今回、両氏が長年にわたり、小・中学校の登校時に黄色の旗を手に、子どもたちの交通安全に努められ、集団登校や自転車の安全な乗り方指導など、積極的に取り組んでこられた功労が認められました。



茨城県知事感謝状を受賞した横田安弘さん（写真中央右）と小河原文江さん（写真中央左）